

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 アールビバン株式会社
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,376	2.4	190	16.7	231	38.2	139	37.6
27年3月期第1四半期	1,343	2.3	163	△22.5	167	△30.9	101	△30.1

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 196百万円 (43.3%) 27年3月期第1四半期 136百万円 (△7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	10.70	—
27年3月期第1四半期	7.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	19,799	13,145	66.4	1,005.25
27年3月期	20,406	13,342	65.4	1,020.26

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 13,145百万円 27年3月期 13,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	30.00	35.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)27年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳:普通配当 5円00銭 記念配当25円00銭 合計30円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	3.4	420	△4.1	430	△15.3	280	△11.3	21.41
通期	6,100	7.0	920	22.3	930	△4.3	510	0.8	39.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	15,463,816 株	27年3月期	15,463,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	2,386,612 株	27年3月期	2,386,612 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	13,077,204 株	27年3月期1Q	13,077,204 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や人手不足に伴う所得雇用環境の改善、低金利などを背景にした設備投資の増加などにより緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、第32期は年度方針として「第二創業への第一歩」を掲げ、中長期的な視点に基づき、人材、組織など中長期的な成長に向けた経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」において、新規顧客の開拓及び過去にとらわれず新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

また、引き続き、「絵のある豊かな生活(くらし)」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう営業活動を推進し、基幹の「アート事業」を中心に積極的な営業展開を行うとともに、組織の効率化、コスト削減に努め、収益力の改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,376百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益190百万円(同16.7%増)、経常利益231百万円(同38.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円(同37.6%増)となりました。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、また、イラスト系グッズ販売におきましては、グッズ専門店やグッズ通販サイトの運営を強化し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、版画売上において出荷が前期を下回ったことにより売上高は887百万円(同1.2%減)となり、同要因及びグッズ店舗の運営費などが増加したことにより営業利益は55百万円(同24.9%減)となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は227百万円(同21.5%増)となり、営業利益は126百万円(同19.5%増)となりました。

◆リゾート事業

「タラサ志摩ホテル」におきまして、本来の強みである「タラソテラピー」を軸に商品展開・営業活動を行い、本格的なタラソテラピーセンターとして、リピーター率の高い施設を目指して運営をいたしました。

しかしながら、プライダルの売上が前年を下回ったことにより売上高は150百万円(同7.4%減)となり、営業損失は32百万円(前年同四半期は31百万円の営業損失)となりました。

◆健康産業事業

フィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ 柏」におきまして、引き続き、ホスピタリティ精神を大切に質の高いサービスの提供及び新規会員の獲得数アップと既存会員の退会防止、客単価の上昇に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。

この結果、売上高は119百万円(同13.9%増)となり、営業利益は16百万円(前年同四半期は3百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は18,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ655百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が323百万円増加したものの、借入金の返済や剰余金の配当等に伴い現金及び預金が1,065百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に株式市場の回復により保有株式のその他有価証券評価差額金の増加に伴い投資有価証券が55百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ607百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円減少いたしました。これは主に前受金が90百万円、割賦利益繰延が70百万円増加したものの、短期借入金が573百万円減少したことによるものであります。固定負債は668百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ410百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が54百万円増加したものの、剰余金の配当等に伴い利益剰余金が252百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.4%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

(注) 当社子会社の株式会社ダブルラックにおきまして、平成24年7月30日付で、カイスアート株式会社（韓国ソウル市）ほかから、美術品担保融資事業における買戻条件付売買契約により取得した一部の美術品等（以下、「本件美術品等」という）の返還請求及び損害賠償責任訴訟の提起を受け、係争しておりましたが、平成27年5月21日付で裁判上の和解が成立いたしました。

本件美術品等の所有権はダブルラックにあり、ダブルラックはカイスアートへ本件美術品等の売却を行う見込みであり、特別利益として417百万円の計上を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505,034	3,440,019
受取手形及び売掛金	8,581,429	8,904,446
営業貸付金	629,705	609,919
商品及び製品	3,777,818	3,776,658
仕掛品	8,805	12,710
原材料及び貯蔵品	33,812	37,054
前払費用	72,911	91,015
繰延税金資産	952,322	957,371
その他	337,787	428,769
貸倒引当金	△183,949	△197,543
流動資産合計	18,715,676	18,060,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,396,263	1,397,857
減価償却累計額	△1,102,082	△1,108,196
建物及び構築物（純額）	294,180	289,660
土地	227,722	227,722
リース資産	12,378	12,378
減価償却累計額	△4,813	△5,432
リース資産（純額）	7,564	6,945
建設仮勘定	28,270	4,530
その他	347,917	354,412
減価償却累計額	△300,421	△305,272
その他（純額）	47,496	49,139
有形固定資産合計	605,233	577,997
無形固定資産		
その他	21,913	51,763
無形固定資産合計	21,913	51,763
投資その他の資産		
投資有価証券	375,055	430,677
敷金及び保証金	193,132	192,746
繰延税金資産	282,262	269,141
その他	273,784	273,267
貸倒引当金	△60,544	△56,541
投資その他の資産合計	1,063,691	1,109,291
固定資産合計	1,690,838	1,739,052
資産合計	20,406,514	19,799,474

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,233	279,312
短期借入金	2,395,000	1,821,787
未払法人税等	130,598	108,956
前受金	903,790	994,129
割賦利益繰延	2,025,592	2,096,435
賞与引当金	55,190	84,349
返品調整引当金	14,372	11,121
その他	554,055	589,400
流動負債合計	6,370,832	5,985,494
固定負債		
長期借入金	450,000	425,000
リース債務	8,048	7,393
退職給付に係る負債	106,412	105,937
資産除去債務	127,017	127,686
その他	2,040	2,040
固定負債合計	693,518	668,057
負債合計	7,064,350	6,653,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	6,240,741	5,988,366
自己株式	△1,328,892	△1,328,892
株主資本合計	13,274,151	13,021,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,075	163,722
退職給付に係る調整累計額	△41,063	△39,576
その他の包括利益累計額合計	68,012	124,145
純資産合計	13,342,164	13,145,922
負債純資産合計	20,406,514	19,799,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,343,937	1,376,650
売上原価	554,189	548,460
売上総利益	789,747	828,189
販売費及び一般管理費	626,400	637,563
営業利益	163,347	190,626
営業外収益		
受取利息	49	28
受取配当金	2,907	3,304
投資事業組合運用益	6,769	—
貸倒引当金戻入額	285	—
為替差益	—	33,818
その他	4,355	6,493
営業外収益合計	14,367	43,644
営業外費用		
支払利息	326	2,360
投資事業組合運用損	—	478
為替差損	9,927	—
その他	326	430
営業外費用合計	10,580	3,268
経常利益	167,133	231,002
特別損失		
減損損失	229	672
ゴルフ会員権評価損	6,490	—
特別損失合計	6,720	672
税金等調整前四半期純利益	160,413	230,330
法人税、住民税及び事業税	27,405	90,017
法人税等調整額	31,274	371
法人税等合計	58,679	90,389
四半期純利益	101,733	139,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,733	139,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	101,733	139,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,715	54,646
退職給付に係る調整額	1,420	1,486
その他の包括利益合計	35,135	56,133
四半期包括利益	136,869	196,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,869	196,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	898,517	184,959	155,857	104,602	1,343,937	—	1,343,937
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30	2,331	6,943	—	9,305	△9,305	—
計	898,547	187,291	162,801	104,602	1,353,243	△9,305	1,343,937
セグメント利益 又は損失(△)	73,565	105,417	△31,497	△3,073	144,411	18,936	163,347

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額18,936千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第1四半期連結累計期間の減損損失の計上額は229千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	887,737	225,346	144,465	119,100	1,376,650	—	1,376,650
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2,286	6,246	—	8,532	△8,532	—
計	887,737	227,632	150,712	119,100	1,385,182	△8,532	1,376,650
セグメント利益 又は損失(△)	55,228	126,004	△32,228	16,226	165,231	25,394	190,626

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額25,394千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第1四半期連結累計期間の減損損失の計上額は672千円であります。